

谷藤ひろあき後援会会報

http://www.morioka-21net.com/hiroaki-tanifuji/
 〒020-0033 盛岡市盛岡駅前北通 7-10 電話 019-626-2750
 発行責任者 村井 軍一 FAX019-626-2751 Vol.41 R3.1.20 発行

新年あけましておめでとうございます。



後援会の皆さまにおかれましては、健やかな新春をお迎えのことと、お喜び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症から、市民の健康・安全を守るため、相談・検査体制を充実させながら、感染拡大防止に全力を尽くしてまいりました。

また、「赤ちゃん応援特別給付金」や「ひとり親家庭就業支援」など、市民生活への経済的支援を行うとともに、事業者の資金繰りや、「もりおかプレミアム付商品券(SANSA)」により大規模な消費喚起を図るなど、第5弾までに及ぶ幅広い経済対策を講じたところです。

これにより、感染症の影響を受けつつも新しい生活様式の定着を進め、必死に頑張っている市民や事業者の皆さまを全力で支援してまいりました。

本年は、引き続き感染防止と地域経済の回復に向け、雇用の維持や事業継続などを確かなものにしてまいります。

加えて、観光業の再活性化や、公共交通の維持確保などにも、積極的に取り組んでまいります。

さらにAI・RPAの活用による行政サービスのオンライン化はもとより、テレワークなどの新しい働き方・暮らし方の実現など、様々な分野にわたる「デジタル化」の取組を集中的に推進してまいります。

このような取組により、「新しい日常」を実現し、持続可能な地域社会の形成を目指してまいります。

盛岡の特長を生かした地方創生につきましては、新盛岡バスセンター整備による街の賑わいの創出や、道明地区新産業等用地整備によるものづくり支援の充実を図ってまいります。

また、玉山地域への「道の駅」の整備、盛岡市動物公園再生事業や、県との共同による(仮称)盛岡南公園野球場整備など、公民連携のもと、引き続き着実に進めてまいります。

昨年は楽しみにしていました「チャグチャグ馬ッコ」「さんさ踊り」「シティマラソン」など様々なイベントが、開催中止を余儀なくされましたが、本年は市民の皆さんと協力しながら新しい生活様式のもとで、安全、安心に開催できるよう努めてまいります。

ポストコロナ時代に、人々がいきいきと暮らし、本市が誰もが住み良い東北の拠点都市として、更に発展を続けられるよう、全力を尽くしてまいります。

皆様には、引き続き感染予防対策の徹底をお願い申し上げますとともに、健やかで実り多い年となりますよう心より祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。

横断道開通式



宮古盛岡横断道路(区界～築川)開通式が行われました。急カーブ・急勾配が多いこの区間の開通は、移動時間の短縮はもとより、全線開通に向け大きな弾みになります。

全国市長会



第90回全国市長会議通常総会(Web会議)が行われ副会長に選任されました。立谷会長(相馬市長)を支え、新型コロナウイルス感染症対策など、当面する重要課題に全国の市区長さん方とともに取り組んでまいります。

改革は市民サービス



行政手続きでの押印廃止については、国においてテレワークの推進や行政手続きのデジタル化に向けて押印廃止などの見直しを進めており、地方公共団体にも同様の取り組みが求められています。本市においては、行政手続きの簡素化のため、すでに一部の申請書・届出書で押印の廃止を進めてきましたが、現在、全庁の各部署で使用している行政手続関係書類の押印の取り扱いや見直しについて、調査を行っています。今後、調査の結果を取りまとめ次第、「押印見直し方針」を策定するとともに、国の見直し方針を踏まえ、すぐにも押印廃止が可能と判断されるものについては、順次、廃止する方向で事務を進めています。

スポーツ



柔道マリ共和国代表東京2020オリンピック事前合宿覚書締結式が行われました。カラ西アフリカ農村自立協会代表の村上一枝さん(盛岡二高卒)を始めとする関係各位のご尽力に感謝するとともに、選手が最高のパフォーマンスを発揮できるよう、可能な限りサポートします。

一步一步着実に！
 静かに元気に！
 頑張ります！

1位盛岡(岩手)
 ■「住みよさランキング」北海道・東北編

ブロック内順位	都市名(都道府県名)	偏差値	全国総合評価(順位)
1	盛岡(岩手)	52.5813	55
2	東根(山形)	52.5176	57
3	白河(福島)	52.4758	61
4	天童(山形)	52.4655	63
5	本宮(福島)	52.0118	91

東洋経済オンライン提供

いつ・どこでも・どんな形でやってくるか分からない。だから日頃の



乙部中学校で総合防災訓練が行われました。例年より規模を縮小しての開催でしたが、猛暑の中、関係機関や地域のみなさまのご協力をいただき、有意義な訓練になりました。大変ありがとうございました。

花蓮友好都市



台湾・花蓮市との友好都市提携1周年記念碑建立式典が行われました。新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響によりリモート開催でしたが、改めて両市の絆の深さを確かめることができました。

市職員除雪隊結団式



高齢の方や障がいがある方など除雪困難な世帯の支援や、除雪機械では作業困難な公共性の高い場所の除雪に、今年も全庁挙げて取り組みます。

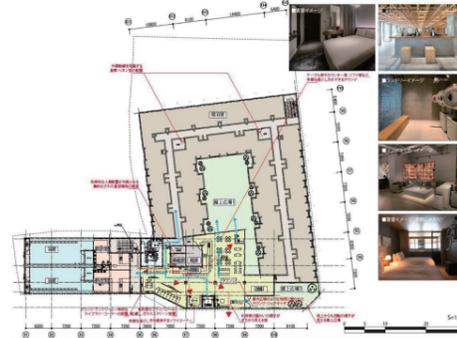
都内での盛岡広域企業立地セミナー2020



盛岡広域への企業進出促進を目的に、各市長・町長がそれぞれの立地環境や産業振興の取組、特産品や観光資源などについてプレゼンしました。



バスセンター



若者応援



親から農業経営を継承し新規就農した方々を訪問し、激励しました。新たな担い手として今後大いに活躍すること期待します

中核市市長会役員会議(Web会議)



国の第2次補正を意識した緊急要請に向けて、会長(豊田市長)さん方と協議しました。

復興庁や国土交通省への要望活動



平澤復興大臣・福島原発事故 鈴木俊一議員 再生総括担当大臣

盛岡バスセンターは、地域のさまざまな魅力をつなぐ「ローカルハブ」をコンセプトとして、エリア価値の向上による河南地区及び中心市街地の活性化を目指して事業検討を進めてきたところですが、今般、事業計画がまとまりましたのでお知らせします。事業計画の概要については、施設整備の主体は株式会社盛岡地域交流センターが出資し設立する特別目的会社いわゆるSPCとし、バスターミナル等の公共施設とにぎわい機能を担う民間施設を一体的に整備するものです。設計・施工事業者については、令和元年度に選定された「ワークビジョンズ・中央コンサルタンツ・中居都市建築設計・菱和建设・カガヤ」の設計・施工共同体です。また、全体の概算事業費については、15億3300万円となり、市負担分としては、バスターミナルの5億3000万円と待合室の2870万円となります。